

令和 3 年度

一般会計・特別会計予算概要

令和 3 年 2 月
函南町長 仁科 喜世志

一般会計予算

令和3年度 函南町の一般会計予算は、歳入歳出総額 11,025,000千円で、前年度比193,000千円、1.7%の減額となりました。

令和3年度は、第六次函南町総合計画前期基本計画の最終年度となり、前期基本計画を締めくくる重要な年となります。町の将来都市像「環境・健康・交流都市函南」の実現のために、限られた財源を最大限に活用し、各分野において行政効果が最大限に発揮できるような予算を編成し、「環境・防災」、「社会基盤」、「健康・福祉」、「教育」、「産業」、「交流・にぎわい」の6つの基本政策のもとに、計画性と公平性を持った施策の展開を図り、次世代につながるまちづくりを推進してまいります。

主な施策としましては、次のとおりです。

施策の柱：環境【環境・防災】

基本目標 ◎ 快適に安心して暮らせる環境づくり 14億 2,648万 9千円

地球環境の保全が世界的な課題となっていることをふまえ、生活環境の保全と、公衆衛生の向上を図るため、循環型社会形成に向けた取り組みを推進します。

また、今後発生する可能性のある大規模災害に備え、町民の生命・財産を守るため、防災体制の充実を図ります。

さらに、交通安全対策や、消防・救急体制の充実を図り、町民が安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。

・再生可能エネルギーの普及および機器への助成

再生可能エネルギーの利用推進と家庭から発生するCO₂の排出量を削減するため、住宅用太陽光発電システム設置の助成を継続します。 予算額 1,080千円

・ごみの排出抑制、適正処理

ごみの排出抑制を図ったうえで、なお排出される廃棄物の適正処理及び資源化を推進するため、一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を更新します。 予算額 4,000千円

・水害への対応

大雨、台風等の水害に備え、老朽化した蛇ヶ橋ポンプ場排水ポンプ整備工事を行います。 予算額 8,600千円

・消防団詰所の耐震対策

耐震性能が劣っている消防団詰所の建替工事を実施し、地域防災の要である消防団員が安心・安全に活動できるよう支援強化を図ります。 予算額 53,283千円

・消防団員の支援充実

道路交通法改正後に運転免許を取得した若年層の消防団員が、消防ポンプ自動車を運転できるようにするため、準中型免許取得に係る費用を助成し、消防団員への支援強化を図ります。 予算額 750千円

- ・災害対策用資機材の整備

災害時に住民へ有効な情報伝達手段として必要な同時通報無線を計画的にデジタル化し、安定的な運用を図ります。 予算額 72,129千円

- ・衛星携帯電話用アンテナの設置

災害時に固定電話や携帯電話が使用不可能となった際にも利用可能な衛星携帯電話のアンテナを設置し、電波の確保と通信手段の多様化を図ります。 予算額 383千円

- ・消防救急体制の強化

火災、救急業務のほか多様化、複雑化する自然災害等に対応するため、駿東伊豆消防組合へ負担金を支出し、町民の安心・安全な生活を守ります。 予算額 482,190千円

施策の柱：環境【 社会基盤 】

基本目標 ◎ コンパクトで効率的な都市づくり 9億 4,150万 5千円

日常生活における交通の利便性が向上するように努め、公共交通の利用促進に向けた活動等を事業者、地域住民、行政等の協働で行います。

また、幹線道路や身近な生活道路等の整備、維持補修を行い、町民の安全性と利便性の向上を図ります。

さらに、暮らしや産業を支える都市基盤が将来に渡り利用できるよう、整備、維持補修を行います。

- ・公園の維持管理

町内の公園の安全を維持し、安心、快適に利用出来るよう、利便性を向上し、多くの方に利用していただくため、公園内の舗装工事、ベンチの改修、樹木の伐採を行います。

予算額 4,337千円

- ・循環バスの実証運行业務

公共交通の利用ニーズの新規拡大と利便性の向上を図るため、町内循環バスの実証運行、評価検証を行い、公共交通で交流拠点を結び、日常生活の利用に加えて観光利用の促進を図ります。

予算額 25,822千円

- ・合併浄化槽設置の普及促進事業

快適な生活環境の実現と公共水域の保全のため、公共下水道事業認可区域外及び田代農業集落排水事業処理区域外の生活排水処理について、合併浄化槽への切替えを促進します。

予算額 3,110千円

- ・主要町道等の整備

通勤、通学時の歩行者の安全を確保するため、国庫支出金を活用し、主要町道や狭あい道路の整備、橋梁点検等を行います。

予算額 114,048千円

- ・橋梁長寿命化計画の策定

老朽化が進んでいる橋梁の安全性を確保するため、橋梁長寿命化計画を策定し、計画的な管理を行います。

予算額 18,205千円

- ・生活道路の維持補修

老朽化により路面の劣化が激しい道路や、交通量の多い生活道路の改善を図るため、舗装工事や橋梁の補修工事を行います。

予算額 171,845千円

- ・住宅環境の整備

安全で安心な住環境向上と居住性向上のため、木造住宅等の耐震補強、雨水浸透施設、防災ベッドの設置等に係る費用を助成します。

予算額 12,226千円

- ・公共下水道事業の推進

公共水域の水質保全を推進するため、一般会計から下水道事業特別会計へ繰出しを行います。

予算額 370,994千円

施策の柱：健康【健康・福祉】

基本目標 ◎ 誰もが活き活きと暮らせる健康づくり 44億 8,258万 1千円

自分の健康は自分で守り、健康長寿社会の実現を図るため、検診・保健指導や健康講座等により、町民のこことからだの健康の維持・増進に取り組みます。

また、障がいのある人もない人も支え合って、住み慣れた地域で自分らしく生きがいを持って健やかに暮らせる共生社会の実現に努めます。

さらに、超高齢化社会に対応し、地域や町民・行政が協力した、包括的で継続的な高齢者介護・支援体制の充実を図ります。

- ・要保護児童等に対する情報管理システムの導入

要保護児童への虐待等があった場合の初期対応を迅速に行うため、要保護児童情報管理システムを導入し、被害を最小限に抑え、国、県との連携を円滑に図ります。

予算額 2,138千円

- ・子育て世代包括支援センターの運営

安心して子育てできる環境を整備するため、産前産後サポート事業や相談支援サービス等出産から子育て期まで切れ目ない支援を提供します。

予算額 1,283千円

- ・成年後見制度利用促進中核機関の設置

高齢者・障がい者の権利擁護と意思決定支援を促進するため、これまで後見人の養成や権利擁護支援の体制準備を行ってきており、令和3年度は、成年後見制度の利用促進を始めとする権利擁護支援の体制整備と、地域連携ネットワークづくりを目的とした中核機関を設置し地域共生社会の実現を推進します。

予算額 1,652千円

- ・重層的支援体制整備への移行準備

高齢化社会を迎え、老老介護、8050問題、大人の引きこもり、ごみ屋敷といった複合課題や制度の挟間の課題について、高齢や障がい等の分野別の相談支援では対応困難なケースが増えている中、これらの課題に対応するため、相談支援、参加支援、地域づくりに向けた支援を一体的に行う重層的支援体制整備事業への移行準備に係る事業を実施します。

予算額 2,872千円

- ・保険者機能強化推進交付金を活用した介護予防・健康づくり推進事業

健康長寿社会の実現を図るため、保険者機能強化推進交付金を活用し、介護予防事業に使用する車両の購入や、農業と福祉の連携による介護予防事業の委託、介護予防のための高齢者移動支援乗合サービス検証業務を委託します。

健康づくり推進事業では、運動と通いの場の面からフレイル予防を図る「通う体操教室」の開催や、新型コロナウイルス感染症の影響により外出を控え、運動不足に陥っている方を対象に、体幹トレーニング等自宅で見ながら運動ができる動画の配信を行い健康づくりの推進を図ります。

予算額 8,624千円

- ・多胎妊娠の妊婦健康診査支援

単胎妊娠より妊婦健診を頻回に受診することが推奨されている多胎妊娠の妊婦の経済的負担の軽減を図るため、基本健診の費用を助成します。

予算額 61千円

- ・救急医療体制の整備促進

夜間・休日でも救急を要する患者の生命を守るため、沼津夜間救急医療対策協会へ負担金を支出し、救急医療体制の確保・充実を図ります。

予算額 15,445千円

- ・国民健康保険制度の円滑な運営

医療技術の進歩により、被保険者の医療制度に対する依存度が高くなる中、国民健康保険事業の医療費の適正化かつ安定的な運営のため、一般会計から国民健康保険特別会計へ繰出しを行います。

予算額 246,220千円

- ・後期高齢者医療制度の円滑な運営

高齢者が安心して医療を受けられるようにするため、一般会計から静岡県後期高齢者医療広域連合へ共通経費の負担金を支出するとともに、後期高齢者医療特別会計へ繰出しを行います。

予算額 458,448千円

- ・介護保険事業の円滑な運営

行政と医療機関、事業所が連携した在宅医療・介護連携が図られるよう、介護保険事業の健全な運営に努めるとともに、支援サービスの向上を図るため、一般会計から介護保険特別会計へ繰出しを行います。

予算額 405,560千円

施策の柱：健康【教育】

基本目標 ◎ 生涯にわたる学びを支える教育・文化づくり 14億 6,696万 6千円

少子化対策、女性活躍といった新たな日常、新しい働き方を支えるため、子育て支援の充実を図ります。

また、幼児教育に関わる保育士・教諭の資質向上や施設等の環境整備を推進し、小学校への円滑な就学を支援します。

さらに、ICTを活用した教育活動を推進し、児童生徒の生きる力を育みます。

・小規模保育所の誘致

待機児童解消対策として、特に待機児童が多い乳幼児の受入れを拡大するため、小規模保育所を誘致し、その整備費用を助成します。

予算額 50,025千円

・こども医療費等助成事業

子どもを持つ家庭の経済的な負担を軽減し、子どもが適切な治療を早期に受けられるよう高校生までの入院や通院に係る医療費の無償化を継続します。

予算額 181,106千円

・認定こども園化園舎改修工事

子育て世帯への保育の提供を増やし、待機児童解消対策として、二葉幼稚園を認定こども園化するため、園舎の改修工事を行います。

予算額 13,560千円

・幼児教育センターの運営

函南町教育大綱の基本構想に掲げる「幼児教育・子育て支援の充実」を推進するため、幼児教育センターを運営し、質の高い幼児教育の提供、保幼小中の連携を図ります。

予算額 3,806千円

・外国語教育の充実

外国語教育の充実を図るため、外国人語学指導助手（ALT）を、小学校4人、中学校2人の体制で取り組みます。

予算額 29,648千円

・ICTを活用した教育の推進

町内小中学校において、GIGAスクール構想に基づくICT教育を推進するため、ICT支援員の増員や、ネットワーク環境の保守管理を行います。

予算額 6,976千円

・図書館等複合施設の運営

図書館等複合施設「かなみ知恵の和館」を、情報、学習、文化、交流の拠点として有効活用できる場とするため、図書館業務の充実を推進します。

予算額 70,383千円

・地域づくり推進事業

町の文化財の活用を図るため、静岡県市町村振興協会の地域づくり推進事業助成金を活用し、2022年NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放映の決定を契機とした小学生への歴史講座の開催、仏の里美術館開館10年目の記念事業を実施し、児童のふるさと学習の推進を図ります。

予算額 1,851千円

- ・函南町体育館の改修

函南町体育館の快適な利用を促進するため、トイレの改修工事を行います。

予算額 6,537千円

- ・文化財保護事業

令和元年8月の大雨災害及び台風第19号被害に伴い罹災した史跡箱根旧街道の甲石坂を復旧するため、災害仮復旧工事、災害復旧整備計画の策定等を行います。

予算額 23,244千円

- ・かなみ仏の里美術館の運営

郷土の歴史と文化への理解を深め、将来に渡る文化財の保護、継承、保存をするため、美術館の適切な維持管理を行うとともに、観光施設の拠点として、更なる誘客も促します。

予算額 15,815千円

施策の柱：交流【産業】

基本目標 ◎ 活力とゆとりを生み出す産業づくり 4億 1,158万 4千円

町内の豊かな営農環境を保全しつつ、農業の生産性向上、後継者の育成等を図ります。

また、函南ブランドやご当地グルメの周知だけでなく、消費に繋がる施策を展開します。

さらに、伊豆半島をはじめとした交流圏域や交流人口の拡大を活かし、広域で連携して効果的なPRを行い、国内外からの観光誘客を促します。

- ・農地の保全、担い手の確保

適正な農地保全及び荒廃化した農地の再利用を図るため、県の補助金を活用し、荒廃農地の再生事業に対する助成を継続します。また、農業の担い手の育成のため、次世代を担う農業者となることを志向する若者に対する新規就農直後の経営確立を支援する資金交付も継続し、農業振興を推進します。

予算額 5,262千円

- ・森林の整備

森林の適正な管理と山林の保水能力向上のため、森林環境譲与税を活用し、森林整備に必要な林道の補修工事等を行います。

予算額 13,949千円

- ・道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」施設の管理運営

地元農産物のPRや販路拡大、交流人口の拡大のため、交流拠点である道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」の運営に民間活力を導入し、各種の分野が連携をして観光振興の推進を図ります。

予算額 156,121千円

- ・川の駅「伊豆ゲートウェイ函南」施設の管理運営

地域のにぎわいの創出や、地域住民や来訪者との交流、アウトドアスポーツの体験の場の提供のため、水防活動の拠点でもある川の駅「伊豆ゲートウェイ函南」の維持管理を行います。

予算額 8,172千円

- ・ 中小事業者への支援

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、経営が厳しくなった中小事業者を支援するため、金融機関から借入れした融資の利子相当分を助成します。 予算額 18,200千円

- ・ 住宅リフォーム助成事業

商工振興の活性化に加え、耐震リフォームとの併用により震災に強い住宅整備を促進します。 予算額 8,000千円

- ・ 地域活性化の推進

函南ブランド認定品などの特産物の周知により産業振興を図るため、インターネットを活用したふるさと納税の促進を図ります。 予算額 24,950千円

- ・ 観光情報の発信

町内の魅力ある観光情報を町外にPRするため、観光情報誌に町内の観光情報を掲載します。また、函南駅前の観光看板や、伊豆半島ジオパーク看板を更新し、観光振興の推進を図ります。 予算額 978千円

- ・ 「鎌倉殿の13人」伊豆富士山周遊促進連絡協議会への負担金

東部・伊豆地域の広域周遊を促進するため、2022年NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を契機とした協議会を設置し、交流人口拡大による地域活性化を図ります。 予算額 339千円

施策の柱：交流【 交流・にぎわい 】

基本目標 ◎ 魅力とにぎわいのある交流づくり 22億 9,587万 5千円

各コミュニティが地域特性をふまえつつ、地域内の交流を推進し、主体的に地域づくりに取り組めるような仕組みの構築を図ります。

また、町の魅力を広く発信し、定住につながる資源を活用し支援を促進します。

さらに、厳しい財政状況をふまえ、計画的かつ効率的に事業を推進するとともに、町の事務事業の必要性、妥当性、効率性を点検・評価して、健全な財政運営を行います。

- ・ 第六次函南町総合計画後期基本計画の策定

令和3年度は第六次函南町総合計画前期基本計画の最終年度であり、令和4年度より後期基本計画を開始するため、函南町が更に発展するような後期基本計画を策定し、「環境・健康・交流都市函南」の実現を目指します。 予算額 7,428千円

- ・ 移住就業支援事業

地方の担い手不足を解消するため、東京圏の人材を静岡県へ就業、函南町へ移住した者に補助金の支給を行い、国・県・町が連携して、定住のサポート体制を構築し、移住定住の促進を図ります。 予算額 1,000千円

- ・コミュニティ施設整備の補助

コミュニティ施設の利便性を図り、更なるコミュニティの醸成につなげるため、要望のあった各地区の公民館等の改修工事等に対する助成を行います。 予算額 5,786千円

- ・自治会活動の促進

少子高齢化により低下しているコミュニティ活動の意識高揚を図るため、区長会を中心に自治会相互の連携を図り、各自治会の地域活動を促進します。 予算額 1,977千円

- ・都市交流事業

異文化交流、国際交流を推進するため、アメリカ合衆国カーマン市との交流や、在住外国人との交流を促進します。 予算額 613千円

- ・FMみしま・かなみの活用

町の情報、各種イベントを周知するため、地域FMコミュニティ放送を活用し、イベントへの参加促進や情報周知を図ります。 予算額 7,106千円

- ・税納付環境の充実

納税者の利便性の向上を図るため、コンビニエンスストアにおける公金収納及びスマートフォンアプリを利用した収納環境を整備し、納付環境の拡充を図ります。 予算額 2,491千円

- ・町税収納率向上対策事業の実施

町税の収納率向上を図るため、文書等による納税催告に加え、電話催告業務を委託し、納税者の納税意識の高揚を図るとともに、収納率の向上に努めます。 予算額 1,622千円

一般会計 歳入歳出別 概要説明

歳 入

自主財源において、歳入の根幹である町税は、4,943,464千円で、前年度比 5.2%の減となりました。これは、コロナ禍での収入減による住民税の減額と、固定資産税の中小事業者等に対する負担軽減制度の減額等によるものであります。

分担金及び負担金は、127,697千円で、前年度比10.8%の減となりました。これは、田方救急医療協議会の事務局が他市へ移るため、負担金が皆減したことによるものであります。

使用料及び手数料は、146,271千円で、前年度比 5.3%の減となりました。これは、函南駅前町営駐車場の使用料等の減額によるものであります。

繰入金は、197,267千円で、前年度比 12.1%の減となりました。これは町立学校建設基金繰入金、財政調整基金繰入金等の減額によるものであります。

これらに、財産収入、寄附金、繰越金、諸収入を加えた自主財源の総額は、5,859,875千円で、前年度比 418,936千円、6.7%の減額となり、歳入に占める自主財源の割合は、2.8ポイント減の 53.2%となりました。

一方、依存財源において、地方消費税交付金は、前年度比 20,000千円、2.8%減の700,000千円となりました。これは、コロナ禍により厳しい経済状況となっていることを見込んだことによるものであります。

地方特例交付金は、60,000千円で、前年度比 45.3%の増となりました。これは、固定資産税及び都市計画税における負担軽減制度による減収分を補填するため、令和3年度から令和6年度までの間に補填される新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金を見込んだことなどによるものであります。

地方交付税は、1,313,000千円で、前年度比 5.2%の増となりました。これは、地方交付税を算定する基礎数値となる令和2年度の税收等が、令和元年度と比較し減額が見込まれ、その分が補填されることを見込んだことによるものであります。

国庫支出金は、1,257,659千円で、前年度比 6.9%の増となりました。これは、災害復旧事業にかかる国庫負担金等が皆減したものの、衆議院議員選挙事務費負担金や小規模保育所整備に係る国庫補助金が皆増したことによるものであります。

県支出金は、816,396千円で、前年度比 3.5%の減となりました。これは、県知事選挙事務委託金の皆増や障害者自立支援給付費県負担金が増額したものの、地域産業立地事業費補助金や国勢調査委託金、災害救助費繰替支弁金が皆減したことによるものであります。

町債は、787,600千円で、前年度比 34.0%の増となりました。これは、災害復旧債が皆減したものの、臨時財政対策債や緊急防災・減災事業債が増額したことによるものであります。

これらに、地方譲与税や各種交付金等を加えた依存財源の総額は 5,165,125千円で、前年度比 225,936千円、4.6%の増となり、歳入に占める依存財源の割合は、2.8ポイント増の 46.8%となりました。

歳 出

議会費は、114,677千円で、1.2%の減となりました。これは、会議録作成に係る事務事業委託料と、職員人件費が減額したことによるものであります。主な歳出として、議員報酬と職員給与等議会の運営及び活動費を計上いたしました。

総務費は、1,216,841千円で、3.0%の減となりました。これは、循環バス実証運行準備支援等業務委託料等が皆増したものの、自治体クラウド導入に伴うシステムデータ移行業務委託料が皆減したことによるものであります。主な歳出として、職員人件費、庁舎維持経費に係る財産管理事業費、公園管理費、文書広報事務経費、電子計算事務の経費を計上いたしました。

民生費は、4,148,403千円で、0.03%の増となりました。これは、国民健康保険特別会計及び介護保険特別会計への繰出金の減額や、災害救助費繰替支弁金が皆減したものの、保育対策総合支援事業費補助金の皆増や支援費扶助が増額したことによるものであります。主な歳出として、児童福祉や高齢者福祉、障害者福祉事業に係る経費、国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険特別会計への繰出金に係る経費を計上いたしました。

衛生費は、1,020,923千円で、0.6%の増となりました。これは、田方救急医療協議会負担が減額したものの、廃棄物処理施設の工事請負費が増額したことによるものであります。主な歳出として、町民の健康保持と増進を図る検診事業に伴う経費、可燃ごみの安定的な処理や不燃ごみの適正処理費用、合併処理浄化槽の普及に係る経費を計上いたしました。

労働費は、12,928千円で、2.9%の増となりました。主な歳出として、シルバー人材センターへの運営費補助金を計上いたしました。

農林水産業費は、194,800千円で、23.2%の減となりました。これは、新田揚水機場揚水ポンプの更新工事や、落合排水機場の改修事業負担金が減額したことによるものです。主な歳出として、農業委員会事務事業、畜産振興事業、町営土地改良事業等に係る経費、農業集落排水事業特別会計への繰出金を計上いたしました。

商工費は、250,792千円で、8.2%の減となりました。これは、町内事業者に対する新型コロナウイルス対策事業利子補給金の増額があったものの、企業誘致の促進を目的とした企業立地設備投資奨励金が皆減となったことによるものです。主な歳出として、道の駅・川の駅の管理運営費、観光振興を図る経費、企業立地設備投資奨励金、消費生活相談員の報酬、商工会事業や町観光協会への補助金等、商工振興に係る費用を計上いたしました。

土木費は、907,938千円で、2.0%の減となりました。これは、町道の設計監理委託料は増額したものの、工事請負費が減額したことによるものであります。主な歳出として、国庫補助道路及び町単独道路新設改良事業や河川改修事業、都市計画事業に係る費用等を計上いたしました。

消防費は、705,466千円で、6.9%の増となりました。これは、駿東伊豆消防組合負担金の増額に加え、分団詰所建替に係る工事請負費が皆増したことによるものであります。主な歳出として、駿東伊豆消防組合負担金、消防団の活動費用、町内各自治会の消防防災資機材の整備に係る防災対策費用を計上いたしました。

教育費は、1,432,911千円で、2.8%の減となりました。これは、史跡箱根旧街道の災害復旧に係る事業費が皆増したものの、小学校の教科書費の減額や、西小学校トイレ洋式化に係る工事請負費が皆減したことによるものです。主な歳出として、小中学校の施設維持管理費、人件費等、学校教育に係る費用、文化センター、運動公園等の各施設維持管理費、生涯学習、文化財保護等、社会教育に係る費用、社会体育に係る費用を計上いたしました。

災害復旧費は、4千円で、ほぼ皆減となりました。これは、令和元年台風第19号の災害復旧に係る工事費が皆減したことによるものであります。

公債費は、999,317千円で、1.0%の減となりました。償還金は、元金分として947,708千円、利子分として 51,608千円、一時借入金の科目設定として1千円を計上いたしました。

そのほか、予備費 20,000千円を計上しました。

これらの結果、経常的経費の総額は、9,106,688千円で、前年度比 9,761千円、0.1%の減となり、歳出に占める経常的経費の割合は、1.3ポイント増の 82.6%となりました。一方、投資的経費の総額は、767,470千円で、前年度比 101,991千円、11.7%の減となり、歳出に占める投資的経費の割合は、0.7ポイント減の 7.0%となりました。

令和３年度函南町土地取得特別会計予算

令和３年度函南町の土地取得特別会計予算は、歳入歳出予算の総額 19,666千円で、前年度と比べ 354千円の減額であります。これは、道の駅の事業用地を一般会計で買い戻すことによる、土地開発基金への繰出金であります。

歳入は、不動産売払収入 19,666千円で、歳出は、土地開発基金繰出金 19,666千円であります。

令和３年度函南町国民健康保険特別会計予算

令和３年度函南町の国民健康保険特別会計予算は、歳入歳出予算の総額 4,195,730千円で、前年度と比べ 130,298千円の減額であります。

歳入は、国民健康保険税が 818,227千円、県支出金が 2,997,184千円等であります。

歳出は、保険給付費が 2,944,884千円、国民健康保険事業費納付金が 1,135,681千円等であります。保険給付費は、県が示す試算値を基に過去の給付状況をふまえ、算出したものであります。

令和３年度函南町後期高齢者医療特別会計予算

令和３年度函南町の後期高齢者医療特別会計予算は、歳入歳出予算の総額 495,679千円で、前年度と比べ 3,674千円の増額であります。

歳入は、後期高齢者医療保険料が 409,312千円、他会計繰入金が 85,026千円等であります。

歳出は、広域連合納付金が 495,339千円、償還金及び還付加算金が 340千円であります。

令和３年度函南町介護保険特別会計予算

令和３年度函南町の介護保険特別会計予算は、歳入歳出予算の総額 3,021,689千円で、前年度と比べ 47,538千円の減額であります。

歳入は、介護保険料 720,054千円、国、県支出金 1,038,771千円、支払基金交付金 780,148千円等であります。

歳出は、職員人件費や介護認定等の総務費が 83,456千円、各種介護保険サービスの事業費である介護給付費と予防給付費が 2,838,525千円、介護予防や包括的支援等の地域支援事業費が 90,902千円等であります。

令和3年度函南町下水道事業特別会計予算

令和3年度の函南町下水道事業特別会計予算は、収益的収入支出と資本的収入支出に区分して定めています。

収益的収入の事業収益は912,725千円で、前年度と比べ8,600千円の増額であります。営業収益684,489千円の主なものは下水道使用料311,880千円と他会計負担金370,994千円で、営業外収益228,234千円の主なものは長期前受金戻入であります。

収益的支出の事業費用は874,515千円で、前年度と比べ25,834千円の減額であります。営業費用817,441千円の主なものは流域下水道費254,718千円と減価償却費493,910千円であります。営業外費用56,922千円の主なものは企業債利息であります。

資本的収入は414,902千円で、前年度と比べ50,482千円の増額であり、主なものは企業債288,500千円と国庫補助金122,500千円であります。

資本的支出は711,867千円で、前年度と比べて67,474千円の増額であり、主なものは未普及対策管きょ埋設工事の建設改良費と企業債元金償還金 259,359千円であります。

令和3年度函南町農業集落排水事業特別会計予算

令和3年度の函南町農業集落排水事業特別会計予算は、地方公営企業法の適用に伴い、公営企業会計に移行いたしました。

収益的収入の事業収益は14,190千円であります。営業収益8,726千円の主なものは農業集落排水使用料1,302千円と他会計負担金7,424千円で、営業外収益5,462千円の主なものは長期前受金戻入であります。

収益的支出の事業費用は12,439千円であります。営業費用11,918千円の主なものはポンプ場費4,528千円と減価償却費7,328千円であります。営業外費用519千円の主なものは企業債利息であります。

資本的収入は1千円で受益者分担金であります。

資本的支出は3,624千円で企業債元金償還金であります。

令和3年度函南町上水道事業特別会計予算

令和3年度の函南町上水道事業特別会計予算は、収益的収入支出と資本的収入支出に区分して定めています。

収益的収入の事業収益は612,730千円で、前年度と比べ10,286千円の減額であります。営業収益539,557千円の主なものは給水収益521,625千円で、営業外収益73,171千円の主なものは長期前受金戻入54,452千円であります。

収益的支出の事業費用は567,396千円で、前年度と比べ26,606千円の増額であります。営業費用560,636千円の主なものは施設維持管理費等の原水浄水及び配水給水費274,330千円、職員人件費等の総係費110,446千円であります。営業外費用6,358千円の主なものは企業債利息であります。

資本的収入は、400,100千円で、前年度と比べ298,800千円の増額であり、主なものは企業債400,000千円であります。

資本的支出は631,946千円で、前年度と比べて207,397千円の増額であり、主なものは第1浄水場更新工事、老朽管の布設替工事等の建設改良費593,992千円と企業債償還金 37,954千円であります。

令和3年度函南町畑、丹那簡易水道特別会計予算

令和3年度の函南町畑、丹那簡易水道特別会計予算は、収益的収入支出と資本的収入支出に区分して定めています。

収益的収入の事業収益は7,768千円で、前年度と比べ2,143千円の減額であります。営業収益5,844千円の主なものは給水収益5,733千円で、営業外収益1,922千円の主なものは長期前受金戻入1,770千円であります。

収益的支出の事業費用は7,093千円で、前年度と比べ3,344千円の減額であります。営業費用6,619千円の主なものは施設維持管理費等の原水浄水及び配水給水費3,990千円、減価償却費1,788千円であります。営業外費用461千円の主なものは消費税であります。

資本的収入は、101千円で、前年度と比べ100千円の増額であり、主なものはその他分担金100千円であります。

資本的支出は643千円で、前年度と比べて454千円の増額であり、主なものは管路破損等工事に要する事業費等の建設改良費113千円と、企業債償還金 530千円であります。

令和3年度函南町田代、軽井沢、丹那地区簡易水道特別会計予算

令和3年度の函南町田代、軽井沢、丹那地区簡易水道特別会計予算は、収益的収入支出と資本的収入支出に区分して定めています。

収益的収入の事業収益は23,765千円で、前年度と比べ14,278千円の減額であります。営業収益10,569千円の主なものは給水収益9,138千円で、営業外収益13,194千円の主なものは長期前受金戻入13,042千円であります。

収益的支出の事業費用は26,722千円で、前年度と比べ13,978千円の減額であります。営業費用26,653千円の主なものは施設維持管理費等の原水浄水及び配水給水費10,926千円、減価償却費14,324千円であります。営業外費用16千円の主なものは企業債利息であります。

資本的収入は、101千円で、前年度と比べ2,899千円の減額であり、主なものはその他分担金100千円であります。

資本的支出は1,390千円で、前年度と比べて315千円の減額であり、主なものは施設更新工事等に要する事業費等の建設改良費613千円と、企業債償還金 777千円であります。

令和3年度函南町東部簡易水道特別会計予算

令和3年度の函南町東部簡易水道特別会計予算は、収益的収入支出と資本的収入支出に区分して定めています。

収益的収入の事業収益は139,631千円で、前年度と比べ42,111千円の減額であります。営業収益116,982千円の主なものは給水収益116,841千円で、営業外収益22,647千円の主なものは長期前受金戻入21,895千円であります。

収益的支出の事業費用は143,648千円で、前年度と比べ34,520千円の減額であります。営業費用143,073千円の主なものは施設維持管理費等の原水浄水及び配水給水費103,550千円、総係費13,735千円、減価償却費24,186千円であります。営業外費用522千円の主なものは消費税であります。

資本的収入は、101千円で、前年度と比べ100千円の増額であり、主なものはその他分担金100千円であります。

資本的支出は18,902千円で、前年度と比べて842千円の減額であり、主なものは第1ポンプ場送水ポンプ吸込管改修工事、A6副ポンプ場加圧ポンプ更新工事等の建設改良費17,837千円と、企業債償還金1,065千円であります。

令和３年度函南町平井財産区特別会計予算

令和３年度の函南町平井財産区特別会計予算は、歳入歳出予算の総額1,155千円で、前年度と比べ33千円の減額であります。

歳入は、基金積立金利子48千円と基金からの繰入金1,107千円で、歳出は、基金積立金利子の元加積立48千円と管理会経費107千円、一般会計への繰出金 1,000千円であります。

令和３年度函南町上沢財産区特別会計予算

令和３年度の函南町上沢財産区特別会計予算は、歳入歳出予算の総額 1 千円で、前年度と同額であります。

歳入は、基金積立金利子 1 千円で、歳出は、基金積立金利子の元加積立 1 千円であります。